

| | |
|---------|------------------|
| 団 体 名 | 宮島沼の会 |
| 事 業 名 | 自然戦隊マガレンジャー 夏の活動 |
| 活 動 場 所 | 宮島沼 |
| 活動日(期間) | 8月5日(火)～6日(水) |
| 参 加 人 数 | 8月5日=17人、6日=17人 |

自然戦隊マガレンジャーは宮島沼の会が主催する、美唄市内小中学生を対象とした自然体験活動である。活動内容、活動目標、活動スケジュールなどは、リーダーとなった担当隊員が事前に集まり計画を立て、買い物などの準備もリーダーが実施する。リーダーは毎月実施する活動毎に担当が変わり、全隊員がどれかの月の活動の担当となる。

今回の活動内容は「魚調査」「ヨシ紙作り」「コウモリ調査」、活動目標は「5分前行動」「責任をもって活動する」「周りの事を考えて活動する」に決まった。当日は17名の隊員が集まり、1泊2日のキャンプを実施した。台風の影響で活動内容の変更が心配されたが、カヌーによる魚調査、ヨシ紙作りを実施することができた。雨天のためコウモリ調査は中止した。



●魚調査

2リットルのペットボトルを使って「どう」を手作りした。5チームに分かれ、計10個のワナを宮島沼の各所に設置し、翌朝回収した。成果は「モツゴ5匹」のみであった。ワナの作り方、ワナの設置方法など検討の余地はあるが、8月の宮島沼では、あまり魚が捕獲できないことを確認した。



●ヨシ紙作り

6月の活動で刈り取ったヨシを利用し、ヨシ紙作りを実施した。この活動は「ヨシは富栄養化している宮島沼の水を浄化してくれる植物であり、成長したヨシを刈り取ることで宮島沼の水質保全になる」ということを楽しみながら理解できることがポイントである。また、手作りしたヨシ絵葉書を宮島沼カントリーフェス（農業祭り）でマガレンジャー自身が販売することで、宮島沼の水質保全の普及とマガレンジャー活動資金調達を子どもたち自身で体験できる活動でもある。昨年からはじめた活動のため、今まで実施したことのある隊員が中心となり、新しいメンバーに教えながらヨシ紙作りを実施することができた。



●その他

夜はドラム缶風呂に入り、野外にテントを立てて宿泊した。野外にテントを立てて宿泊するのは今回が初めてである（今までは、センター内で寝袋就寝）。薪を焚いてお湯を沸かしたり、大型テントを設営したりなど、大人スタッフの力を借りながらではあるが、子供達の手で実施することができた。

マガレンジャーキャンプでは食事の準備も子供達自身で行う。食事の準備に関しては、毎度のことなので、年長メンバーが年少メンバーに教えながら、今まで実施したことのある隊員が新しいメンバーに教えながら、子供達のみで準備できた。新しいメンバーが加わり、まだコミュニケーションが十分取れていない中での活動だったためか、カレーが水っぽくなったり、固いご飯になってしまったりと苦労していたが、最終的には美味しいご飯が出来上がっていた。

いろいろな失敗を乗り越えながら、隊員同士が仲良くなり「イグルーで寝る冬キャンプをやりたい」「コウモリ調査をリベンジしたい」など、解散の頃には自然にやりたいことを話し合う雰囲気になっていた。





活動報告ホームページ

自然戦隊マガレンジャー・活動日記； <http://magaranger.blog55.fc2.com/blog-entry-54.html>